

治験冷蔵庫・冷凍庫が故障した場合の対応

下記の故障したと思われる状況を認めた場合は、
記した対応策をとり、平日日勤帯に情報室メンバーに必ず申し送るよう引き継いでください。

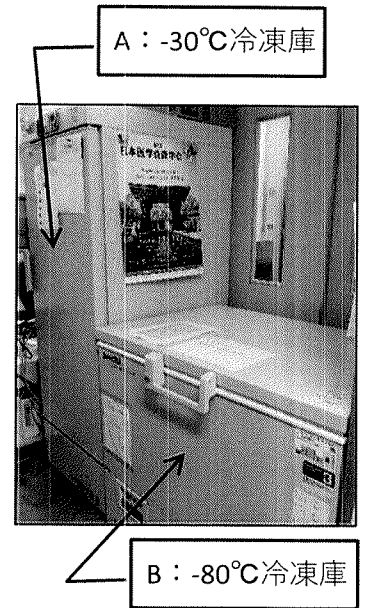
【故障と思われる状況】

該当するものに☑をいれてください

- ① エラー音が鳴っている。
- ② 管理温度幅を超えている。

【対応策】

- ① 内部にある全ての検体を、控室前-30℃冷凍庫（A）に移動する。
- ② 下記の「検体移動記録(故障冷凍庫→-30℃)」に、移動した日時と移動した検体数、対応した技師名を記入する。
- ③ 控室前の-80℃冷凍庫（B）の電源を入れる。
(情報室内部から冷凍庫背面の扉をあげスイッチを入れる)
- ④ 故障した冷凍庫内部の温度計(30番)を（B）の冷凍庫に設置する。
- ⑤ 4～5時間後、（B）の温度表示が管理幅内にある事を確認して（A）から（B）に検体を全て移動する。
- ⑥ 下記の「検体移動記録(-30℃→-80℃)」に、移動した日時と移動した検体数、対応した技師名を記入する。
- ⑦ 故障した冷凍庫の温度記録簿を（B）冷凍庫に移動し、今後の記録を引き継ぐよう次勤務者へ申し送る。



【検体移動記録】

検体移動日時	移動した検体内容		対応技師	備考
例 故障冷凍庫→-30℃ 2024/2/1 15:03	冷凍	5本	●●●●	
例 -30℃→-80℃ 2024/2/1 21:00	冷凍	5本	●●●●	
故障冷凍庫→-30℃	冷凍	本		
-30℃→-80℃	冷凍	本		

治験冷凍庫(-80℃)が故障してから平日日勤帯までに日数を要し、
その間に保管検体が発生した場合は、移動先の（B）冷凍庫に保管を継続してください。

治験冷蔵庫・冷凍庫が故障した場合の対応

下記の故障したと思われる状況を確認した場合は、
記した対応策をとり、平日日勤帯に情報室メンバーに必ず申し送るよう引き継いでください。

【故障と思われる状況】

該当するものに☑をいれてください

- ① エラー音が鳴っている。
- ② 管理温度幅を超えている。

【対応策】

- ① 内部にある全ての検体を、外注用冷蔵庫および外注用冷凍庫に移動する。
② 下記の「検体移動記録」に、移動した日時と移動した検体数、
対応した技師名を記入する。

【検体移動記録】

検体移動日時	移動した検体内容		対応技師	備考
例 2024/2/1 15:03	冷蔵	3 本	●	元のラックごと移動しました。
	冷凍	1 本		
	冷蔵	本		
	冷凍	本		

治験冷蔵庫および治験冷凍庫が故障してから平日日勤帯までに日数を要し、
その間に保管検体が発生した場合は、移動先の外注用冷蔵庫および外注用冷凍庫に
保管を継続してください。